Kodak Gray Scale
© Kodak, 2007 TM: Kodak
Kodak Color Control Patches
© Kodak, 2007 TM: Kodak
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

911.145
A
M

贈

呈

育

德

財

團

911.145 sM

帝国図書館藏書

国立国会
25. 10. 21
図書館

216487

新古今和歌集序

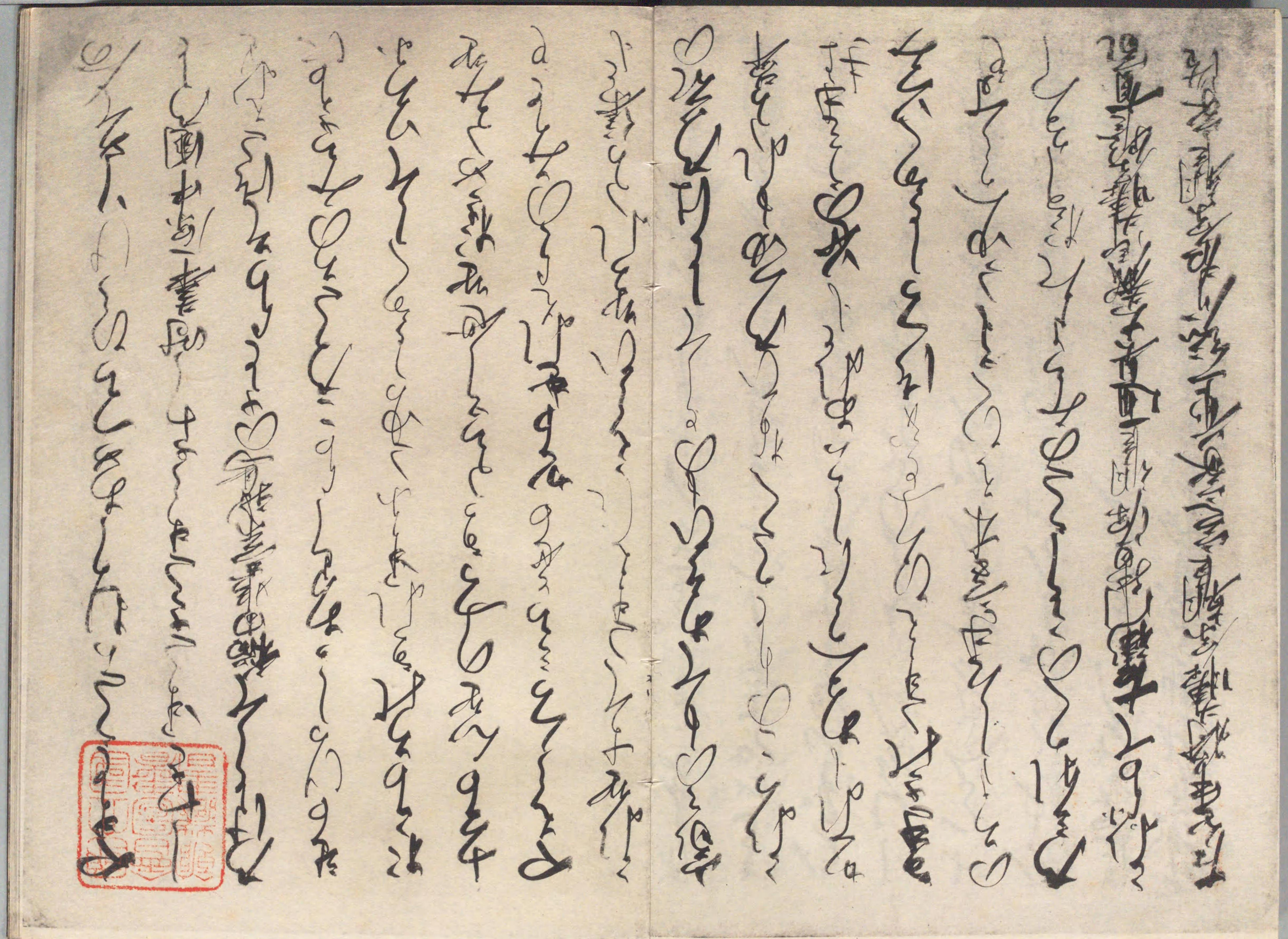
夫和歌者群德之祖百福之宗也立象天成立降
六情之義未著素戔嗚尊奉一字之詠事興茶
茶流寂然長夜雖果敢柿下情自達冥冥
宜上感而致化或馬迹寓于書懷或樣數之也
寄于哀歌豈理世極民之鴻範資心樂事之嘉謨
者也是以聖代明時集而録之若窮精微何以
洞既往之狀哉況嚴顔之玉樣也有録象林代之無
也故故以詳況爾也宜抜之仍詔參議右衛門督源朝臣
通具大納言藤原朝臣家隆左近衛權中將藤原朝臣雅經
前上總介藤原朝臣家長左近衛權少將藤原朝臣雅
樟貴賤高下今撰歌句玉章神明之詞佛陀
之作為表布奇雖爲同樂始於曩昔迄于當時
彼此伝傳若存若亡遥參室玄圃花之方之翔躁砌
崇之叶數雖波津之遺流寄淺香山之芳蹤
今式詠授澤氣之才面無常美無偏樣非剪翠之

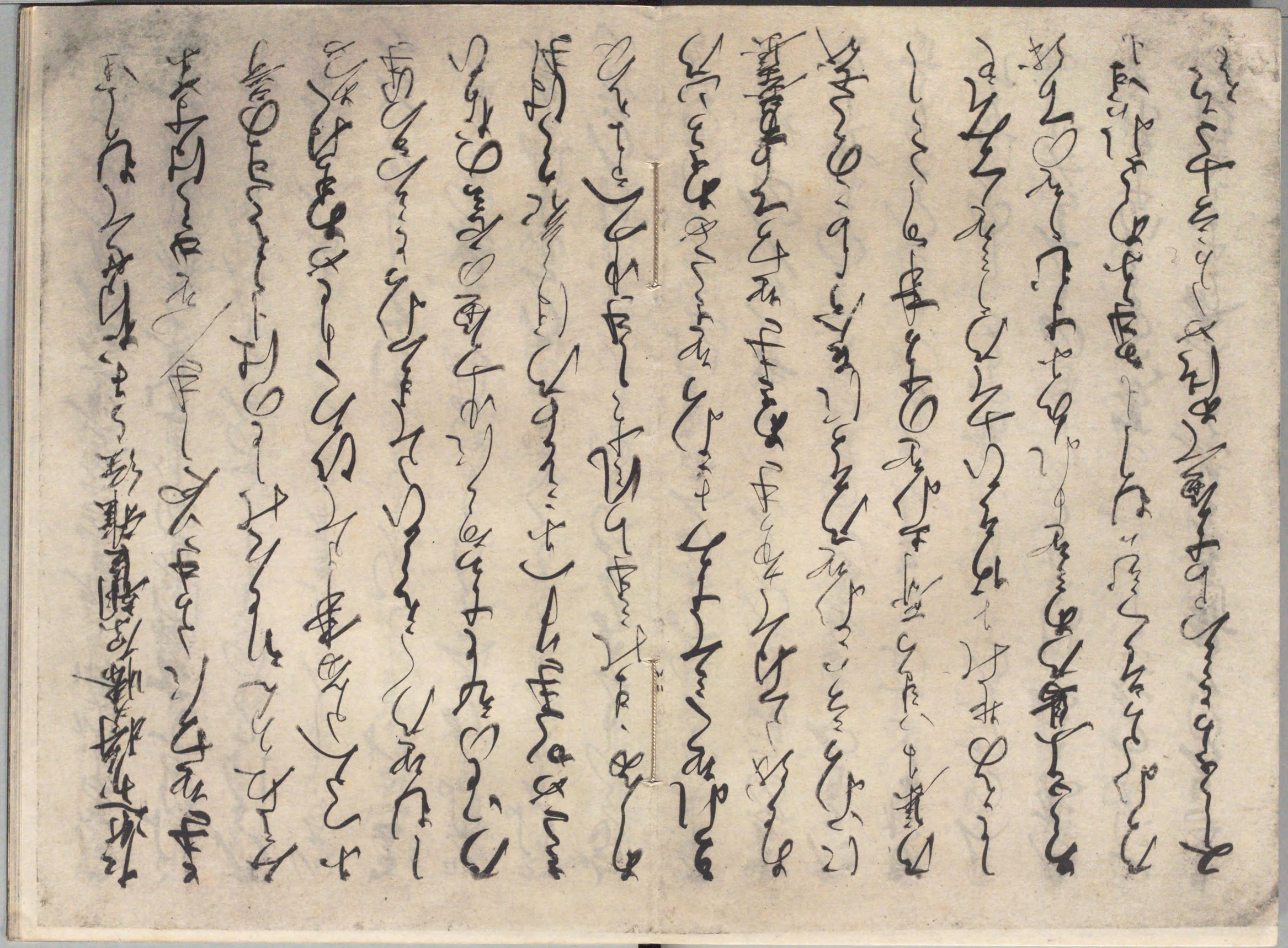
羽年載成ら得二千有類聚ら為二卒業ら為新ら今
和哥集ら今特人令節物ら屏風四帖ら為屏風ら作
雜詠ら付並詞ら為布帛ら為ら贈ら為ら
伏惟聚貝仁親ら踐天子ら位謝於漢ら為ら遣
陽之張
今上陛下ら嚴親也雖無隙帝道ら諮詢日域
朝廷ら本主也年不貢我國ら習俗方今全
宰合體美麗詠仁風ら樂万春ら日野ら草叢
廉月寓ら樊千秋ら津洲ら蘆脣靜謐雁
為有蔵ら特可賞深直気採儀ら志ら撰斯集
永欽傳百王敬上古ら万葉集者蓋和哥ら源
也編次ら起自雄ら儀皇帝進逝煙蓬萊
遠喜有古今集四人令編命白成ら天暦有後撰
集五人奉綸ら言ら成ら其後有拾遺後拾遺
人奉詔為千載集雖如此聖王數代之
徐恨如撰者一身ら家自茲詔遠喜天暦二朝之

遺篇之法河安屋五帝之美當排陳仙之居
展刊（綴）補之席而已斯集之作也乞抽万事
之中史裕代集之分深（深）宗而嚴長無遺漏
自行善以奉但雖浪網於山野嚴合自逝雖連
年出江湖小辭倘漏誠當視聽之不達之有
篇章之猶道今以隨樣浮上所勒終也柳
於古今者不載世代之御製自後模而初加其
時之天章若一部不滿十篇乃今百今日
就已餘三年有六義若相重一五雖中之依無風
骨之絶妙遂有露詞之多加倫以然道之累
頗等情之眠仍取於者素尚之餘持連沖
禮伏義之基宣德而罪万年異域自雖觀
聖道之書史皇神武（神武帝功）而八十代當朝
未聽　歲策之模集矣定初天下之都人女
經齊斯道之過逢矣不獨記仙洞無何之御
有朝氣年月之興之欲星宣氣元久之盛有

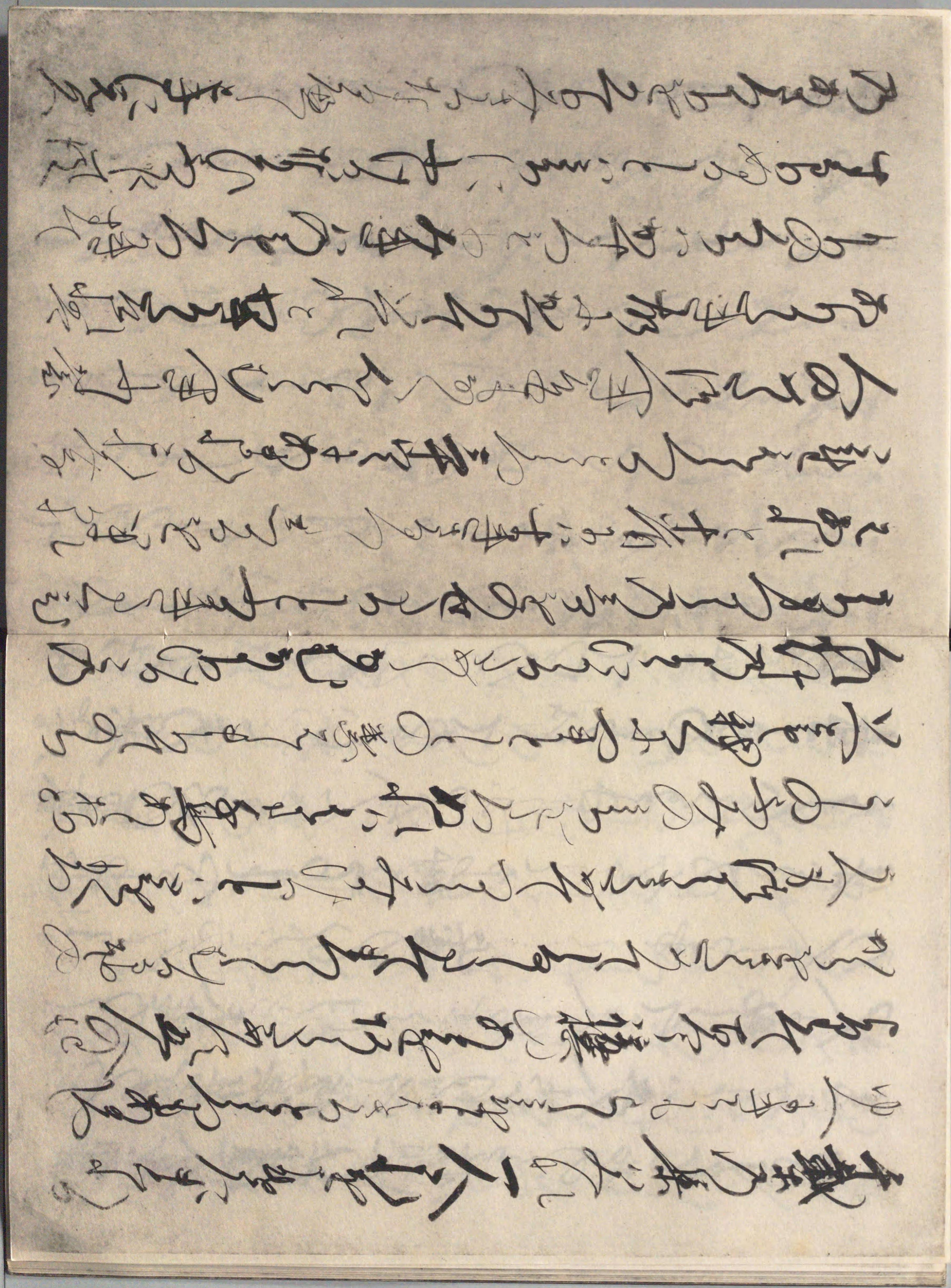
漁舟賀新らしく作模らしく熟不在茲子聖唐人作

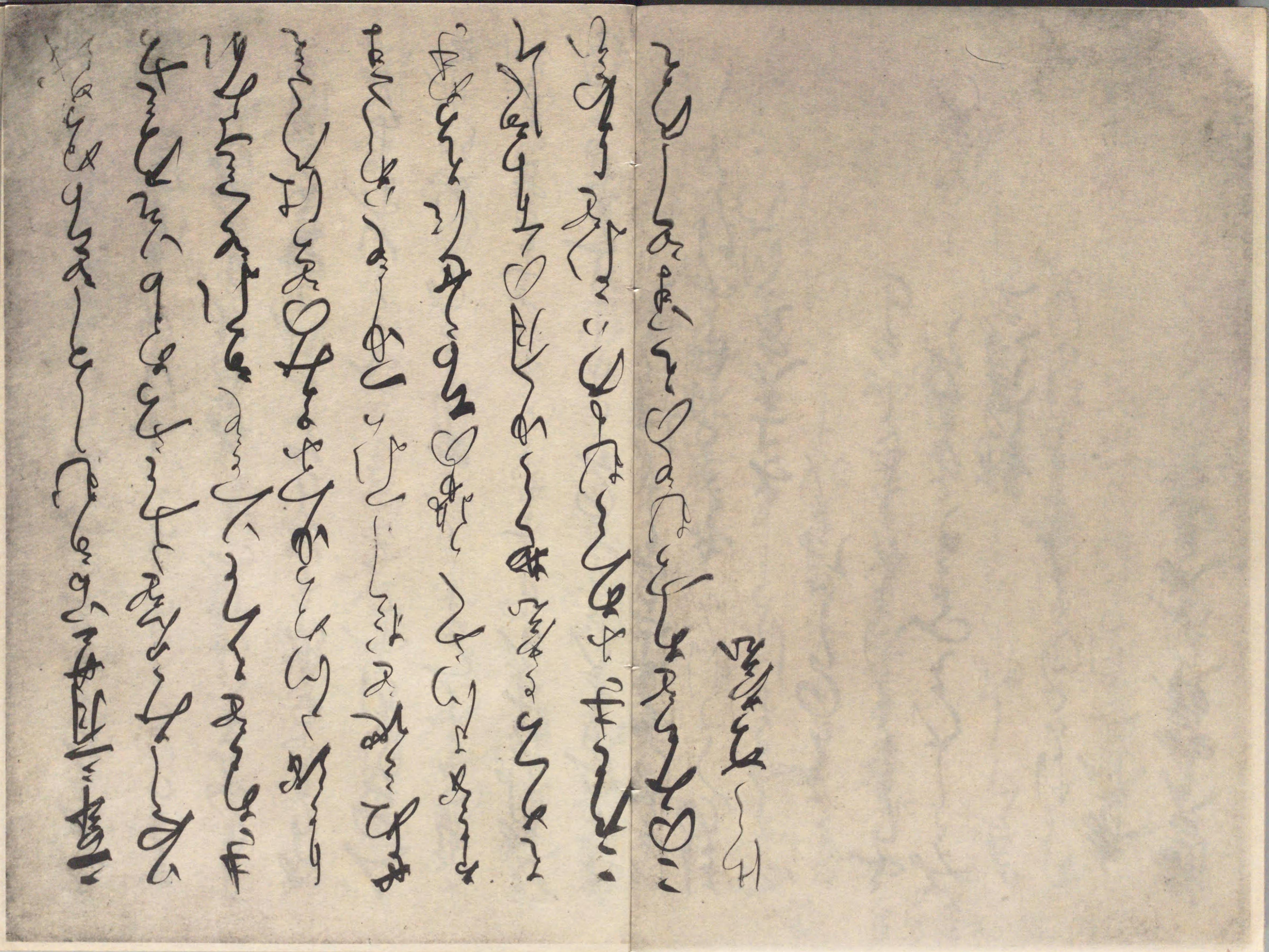
王春三月五日





[illegible]





新古今和歌集巻第一

春歌上

はるたちけるときよめる　摂政太政大臣

みよしのゝやまもとかすみたちにけらしかきふるすとの
ものゝめかれたる

太上天皇

ほのゝとはるのあけぼのしらくもにまがふかすみ
のなかのやまもと

式子内親王

やまもとはかすみたちにけりしらくもの
たえまにみえしはるのあけぼの

宮内卿

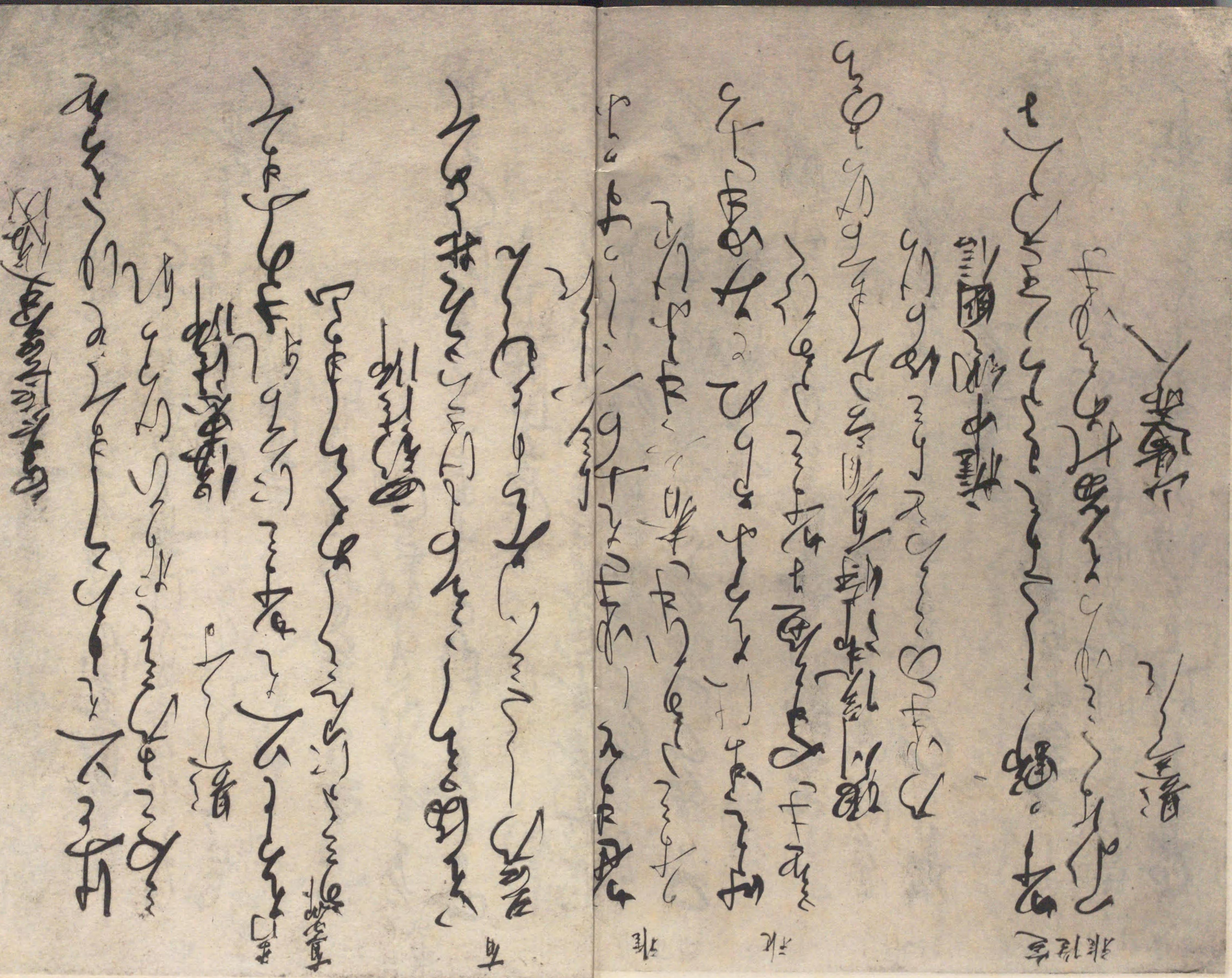
やまもとのゆきはきえぬとおもへども
はるのかすみのたちまさりけり

道因法師

ながめつゝ春のくるかとおもへばかはるまもなくかすみ
たちけり

小侍従

しらぬはるのよとなるかとおもへばかはるまもなくかすみ
たちけり



有定隆雅

雅

宋有雅

宋隆

定隆雅

天暦御時屏風ニ

年毎の春ごとにみちのくにまかりけるに
見れつまんとしふるさとの
雪の中の春の来ぬれば
宮内卿

[illegible]

[illegible]

[illegible]

藤原家隆朝臣

春の夜の月のかげ

藤原定家朝臣

春の夜の月のかげ

藤原仲實朝臣

はるのよの花のかを

中納言家持

春の夜の月のかげ

定

[illegible]

[illegible]

[illegible]

定隆卿

[illegible]

[illegible]

源実朝

むすびしよりものこきさらしたるゆきを
花といとりそのうちに

有

[illegible]

道寂入

[illegible]

逸有

[illegible]

[illegible]

[illegible]

定隆卿

[illegible]

[illegible]

有

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

有定隆卿

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

前大僧正慈円

[illegible]

[illegible]

[illegible]

宗貞法親王五十首歌たてまつりける

藤原定家朝臣

有後拾遺

ちるはなのいのちのうちにきりてしてこれよりのちのこころをぞしる

きてもみるはなさきぬるかぎりかなけふをしぬべきいのちなりけり

中務

定

ちるはなをとなりのいけのみくもりてなるとのけくとぞ

宗貞法親王家五十首歌

藤原定家朝臣

東後

ちるはなはもとのこころをしるらんすみつくのよるのつきかな

宗貞法親王家五十首歌

有

はるかぜにちるはなをみるにつけてはかなきものとおもひしるかな

藤原家隆朝臣

定

ちるはなをたれとしらねどかぜにのみ

梅花宴

源俊頼朝臣

ちるあるいとそよをはなれ
ちるをしらずにてをしらに
ひきうゝ音
百首うたのうち

藤原定家朝臣

むかしをたれかとはまし
ひとりして
のきうゝ月のかたらふ

藤原家隆朝臣

むかしにもあらぬ
はるの月

有定俊雅

定

ちるあるはけてにしらぬ名
千五百番うたあはせ

右衛門督通具

ちるとてかゝるはなのうへとも
ちるをしらぬ月とをもへ

有定俊雅

俊雅

宴

むかしをたれかとはまし
ひとりして
はるの長月

梅花

藤原定家

たれ三位ゆきはるの
はる

藤原定頼

定俊卿

定俊卿

定

二月雪ふれとうたはれける

藤原資平朝臣

定

有定卿

社俊卿

来

有定卿

或人親し

有家卿

藤原有家朝臣

梅書面白と人事を

題不

陸奥

定雅

文集和陸春夜詩石明石暗曉月高

大江千里

有定定雅

春秋のあはれはいづれまさるとあらそひしけるを

藤原基経朝臣

定清

春の月

海其親

定陸雅

なにはなるみをつくしもあはれなりあしのかくれのつきのかげかな

敦忠朝臣家百首合

宋遠法師

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大僧正行慶

伊勢

清輔朝臣

勝命法師

九條内府

[illegible]

大宰大貳高遠

[illegible]

輔仁親王

[illegible]

[illegible]

[illegible]

有定隆

かたらきやまふ春風吹てく

藤原有家卿

定隆朝臣

あをやぎのいとふかうしてまゆくしつゝ乃
さとしそよのうちへかすむ

宮御

うすこきの乃わくきすり
あまそゆる雪れもしきこ
れもしきこ

第孫女

有隆

やなきとしをはるの日の卿を
こゝろ乃ふかきなむ

二条為氏

定隆

らの乃やまさくらはたおゆきしてて
花をさしけるこゝろ

前法師

白河院鳥羽に行幸ありけるに人々に
侍花とゝろんをよ伊ゝふ

藤原清時朝臣

陰

有定隆

定陰

有

紀貫之

藤原家隆朝

有定隆

定陰

有

中納言家持

花ゆえとよしの山

西行法師

[illegible]

定家卿

和歌所にて寄乃うに

[illegible]

有家卿

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

影千

[illegible]

[illegible]

[illegible]

陽

白三位重能

花散ぬ[illegible]の
[illegible]れて[illegible]
[illegible]

元陰

あきはつる[illegible]の
つゆのくさ[illegible]ゆき[illegible]

藤原有家朝臣

[illegible]

春歌下

[illegible]

[illegible]

太上天皇

[illegible]

千五百番歌合に

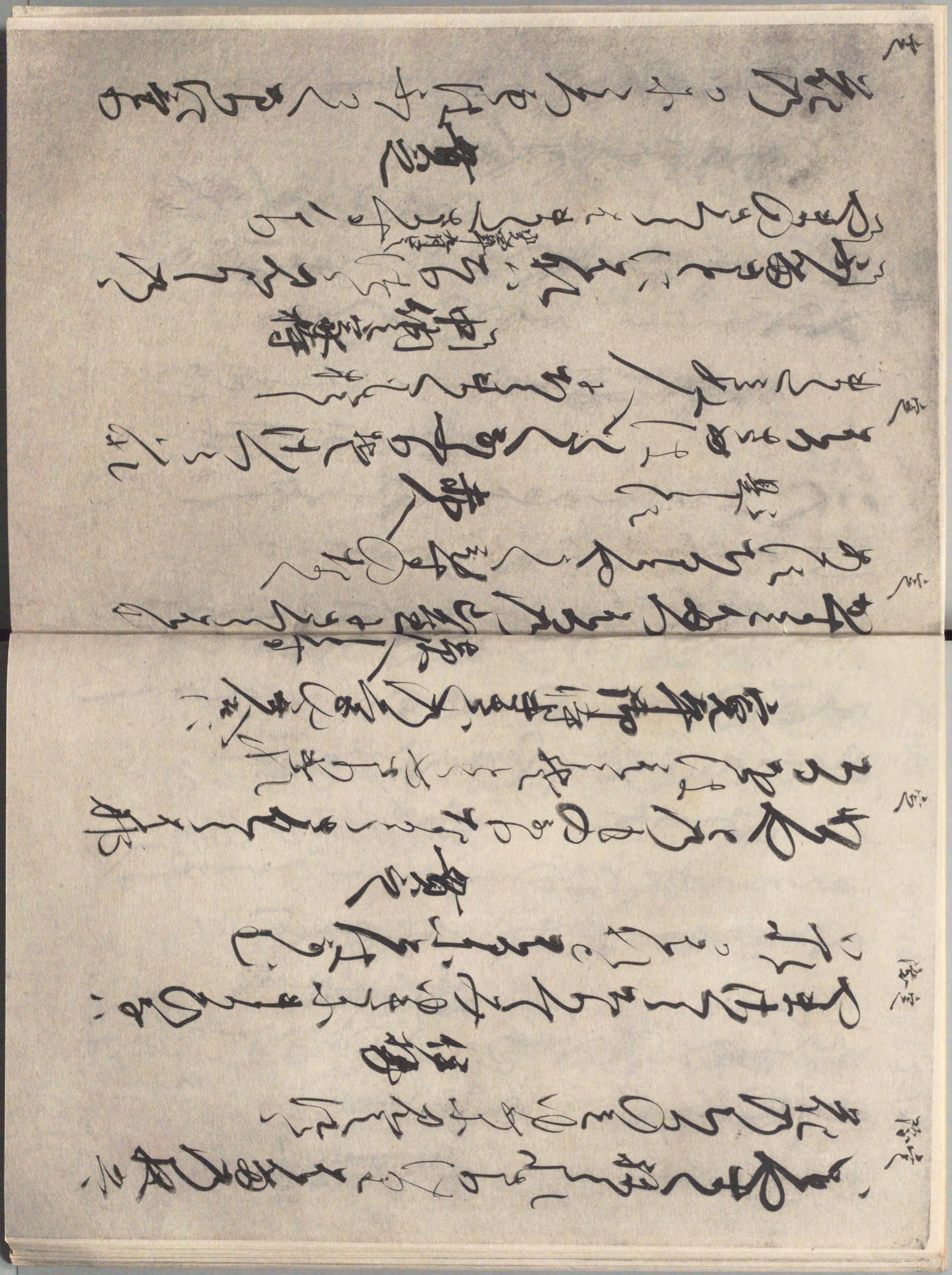
皇后宮摂政

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

千五百番歌合に

皇太后宮大夫俊成女

風をいたみ岩うつなみのおのれのみ
くだけてものを思ふころかな

[illegible]

[illegible]

藤原家隆朝臣

こがらしのとがらしにたへぬ
[illegible]

[illegible]

皇太后宮大夫俊成

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

法眼

いろあるの秋に花はちりけり

豐子法師

野に

定家卿

さくらちる春のなごりをとどめかね

ものうしとのみうぐいすぞなく

よき花をそでにこきいれけり

藤原資基朝臣

花ぞ散けり

定家卿

やまざくら花のしらくもかとぞみる

ゆきのしたにはうぐいすぞなく

野に

源重之

ちるさくらあるじをとはばいかがこたへん

法眼

おりてちりけり

定家卿

なりかねるかぜにもまがふ花ゆゑに

すまきのうらのあまのこころは

百首うたよみけるに 源具親

時もあれ空にうかれむものとてはるのこころの

見山花とうたふを

大納言信実

やまざくらさきのこずえにもちりあまて

除

[illegible]

堀河院御時百首歌

藤原師頼

[illegible]

花前春雪

[illegible]

定

除

[illegible]

花前落葉

[illegible]

定

除

[illegible]

[illegible]

[illegible]

宮内卿

花さそふ山ちの風やまとなら
ぬきしの花のあるとこゝろまて

同時花を

あさかやま山のもとをかくしつゝ
ちらしぬしたる花のすきしも

夏者ちらしてまつ春ものを

宗隆讃岐

やまのかすみをれのあはれ
月ふかぬきはしあるくらのあ

夏者ちらしてはの時まつ

宗隆中納言

やまのかすみをれのあはれ
あるとこゝろもちるときい
ちるとはなを

春日社之会とて人々侍りし

刑部卿頼輔

ちるまつをれのあはれ
あるにはまくるをれのしるし

宮内卿四条院の陸奥の国の
所

きりてしぬ
千五百番歌合に

左中将良平

ちるをしらぬ人しなければ
花をのこすの山風

落花をよめる

藤原雅経

ちるをしらぬ人しなければ
しばしはとまれ山の花

後白河院御歌

かりそめにとまれる人を
まつ山の
はるかにかすむ
ものとこそ
思へ

大神宮

有隆

ふるさとの
はるかにかすむ
ものとこそ
思へ

僧都

ちるはなを
はるかにかすむ
ものとこそ
思へ

構成員

ちるはなを
はるかにかすむ
ものとこそ
思へ

野宮

大納言信

皇后宮大夫俊成

こまとめてなをうつしもやまぎの
しるしの[illegible]をしてのまゝに

[illegible]法師前右兵衛督[illegible]

權中納言國信

いそのかみふるさとのはるかぜ
なみだかをるこまのゝ[illegible]

[illegible]

原見

かすみのくもうちのひはふるけみそ
まつはしるしやまぎの花

皇后宮十三番歌合

藤原興風

ちりぬるいろ
そのゝそらいろ[illegible]む

[illegible]

[illegible]

[illegible]

天曆四年三月十四日右つかさやまぎ
[illegible]

[illegible]

[illegible]

清慎公家屏風に

賀

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

はるのよのつきをみるとてよめる　寛空僧正

りけり

藤原道信朝臣

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大僧正行尊

[illegible]

[illegible]

[illegible]

定隆 雅

藤原伊経

有

雅

定隆 雅

定

定 有

宮内卿

夏歌

[illegible]

特統天皇御宇

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

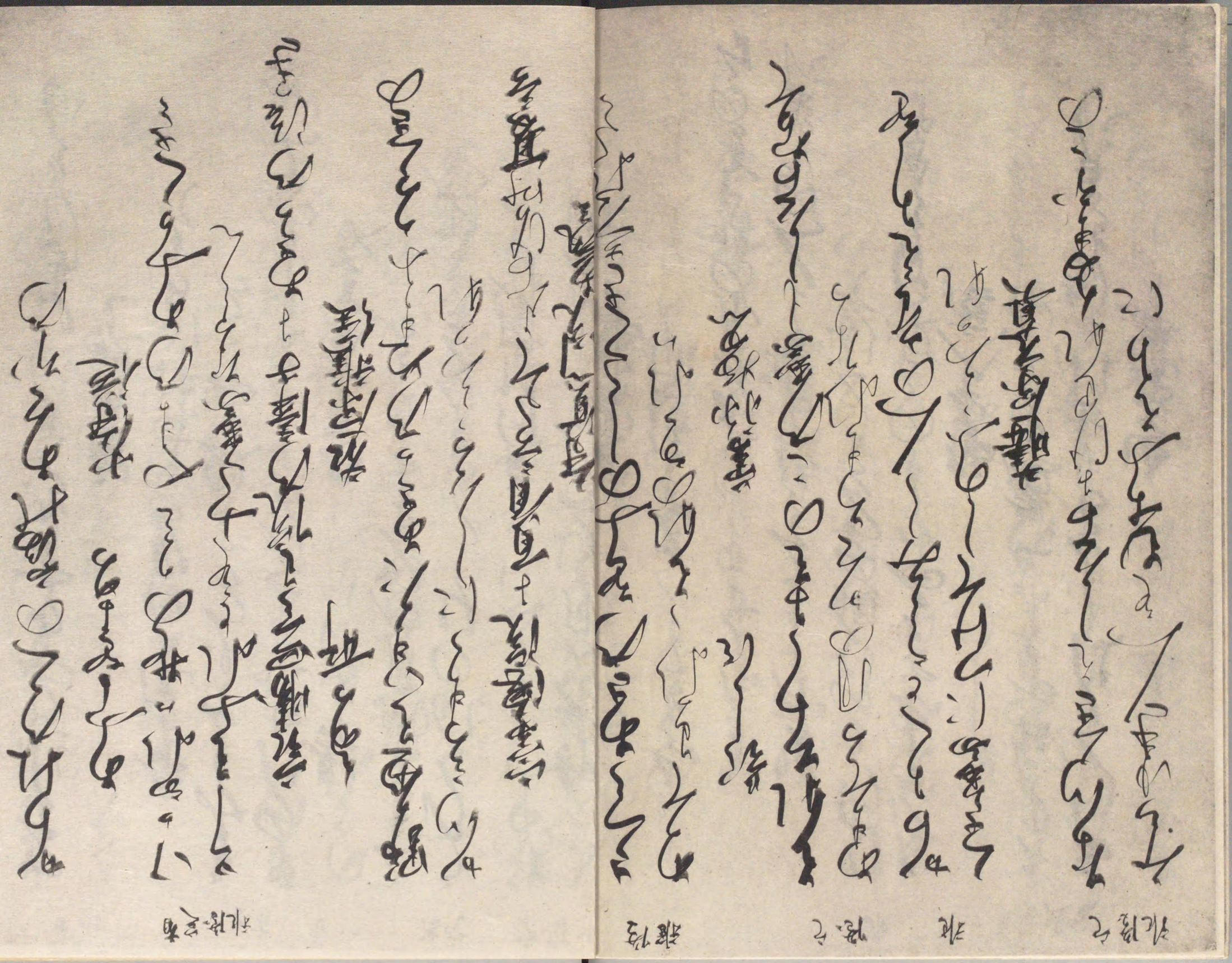
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



山家部

[illegible]

[illegible]殿をせれ

師年人麿

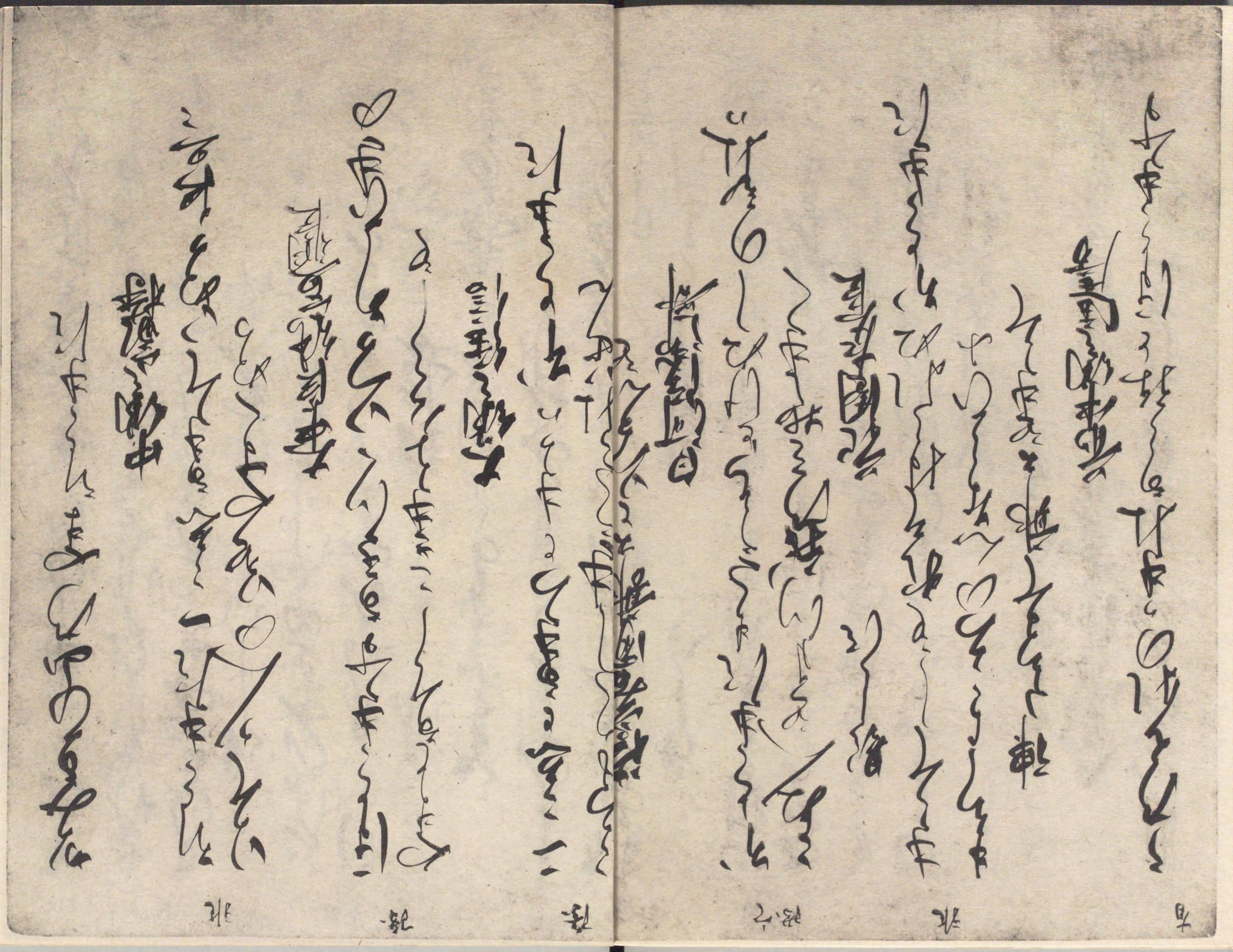
なくこゑをそへいとのこのほとゝきす
きりうのそれのかをよりそへて
頃年まうけ侍りける人のもとに
うなゐとやけあるものかもとのな
ちをとりてつかはしける

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

夏者[illegible]時分[illegible]中に

[illegible]御[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

千五百番[illegible]合に

[illegible]

[illegible]

[illegible]

後鳥羽[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

除

[illegible]

[illegible]

[illegible]

藤原定家卿

たまのをの
たえてのちもあらばこそ
しのぶることの
よわりもすれ

菅田氏良

まがふべきものとも
なしかりがねの
ゆくへをつれし
月のかげかな

前参議

ちりぬるかぜの
なごりにぞ
ふるのやまべの
さくらばなかな

菅原定家卿

ちりぬるかぜの
なごりにぞ
ふるのやまべの
さくらばなかな

平兼盛

みちのくの
しのぶもじずり
たれゆえに
みだれそめにし
われならなくに

大神公基

大上天皇

かくばかり
みがきてのちも
なかりけり
あとなきものは
こころなりけり

建仁元年三月会ニ奉献之

前大僧正慈円

隆

[illegible]

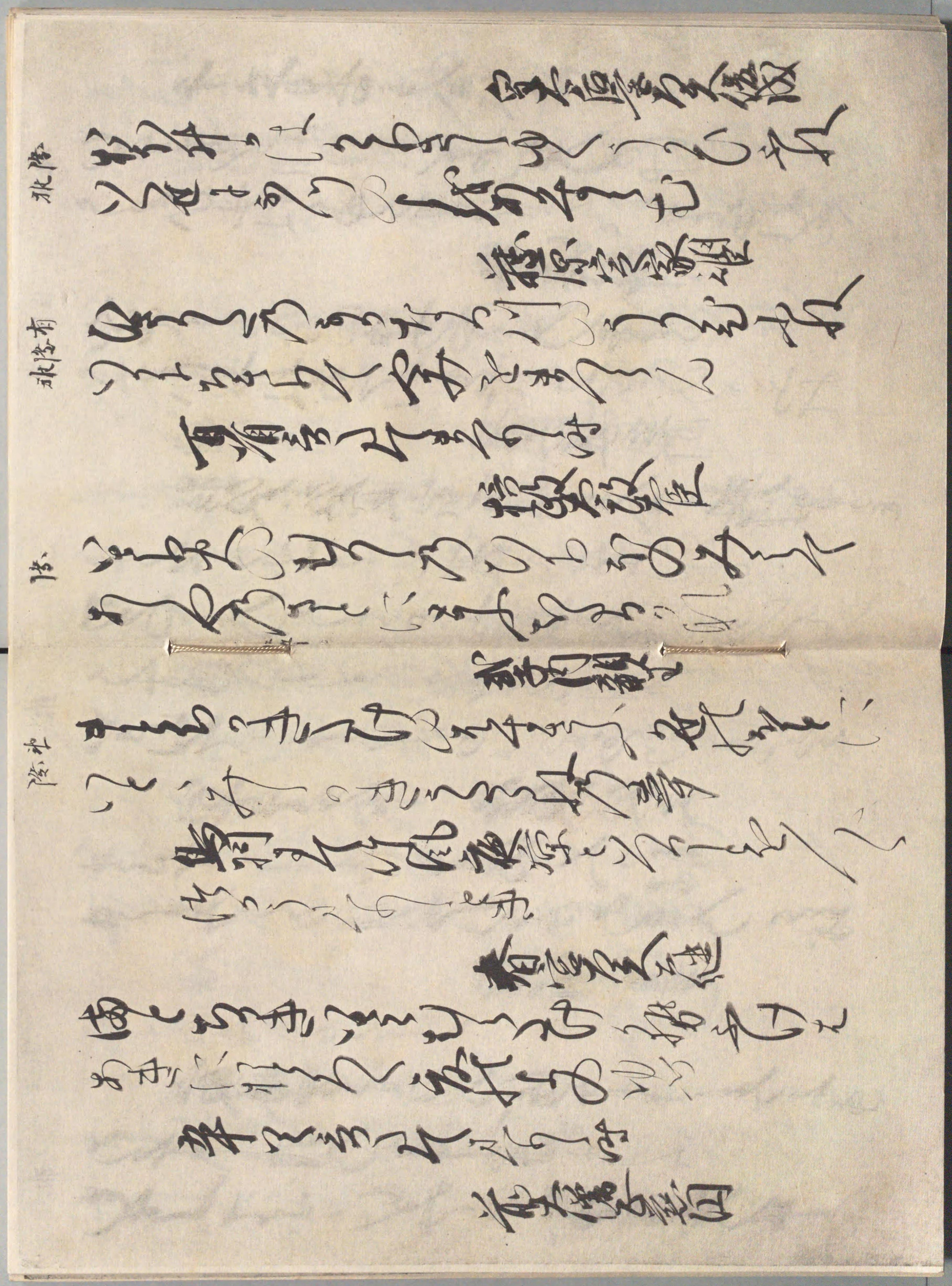
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

[illegible]

[illegible]

宗像院より百首うたをまいらせられけるに

藤原清輔朝臣

[illegible]

千五百番うたあはせ

[illegible]中納言俊

[illegible]

[illegible]

[illegible]

千五百番歌合

前右兵衛督家良

恋

[illegible]

百首歌奉りし時

恋

秋ちかきくさのもとにあくがれぬ
のべのこがらしはなびくなん

宮内卿

[illegible]

[illegible]

[illegible]

後鳥羽院

[illegible]

[illegible]

[illegible]

やまとのくにのかみ

文治二年御八内弁風よ

道方朝臣

いそのかみ

ふるのやしろの

ゆふかけ

千五百番歌合に

宮内卿

かすみたちなびくをちかたのあけぼの

ちらしなすをりをりもとりあきに

有隆卿

定隆

夏歌

夏ちかくなりぬるかとおもへども

なほ雪ふりまさるかな

前大僧正慈円

夏歌

五月雨

五月雨のつゆ

五月雨のつゆ

五月雨のつゆ

題しらず　中納言家持

かすがのゝ　をのへのくさも　かれぬれば
うらまくさびし　しかのなくこゑ

百首うたのうち　皇太后宮

夏ゆくと　ひぐらしなくの　ゆふぐれに
ものおもふころの　あきかぜぞふく

藤原孝道朝臣

[illegible]

[illegible]

文治六年御屏風ノ

後藤左兵衛尉

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

藤原家隆朝臣

[illegible]

[illegible]

[illegible]

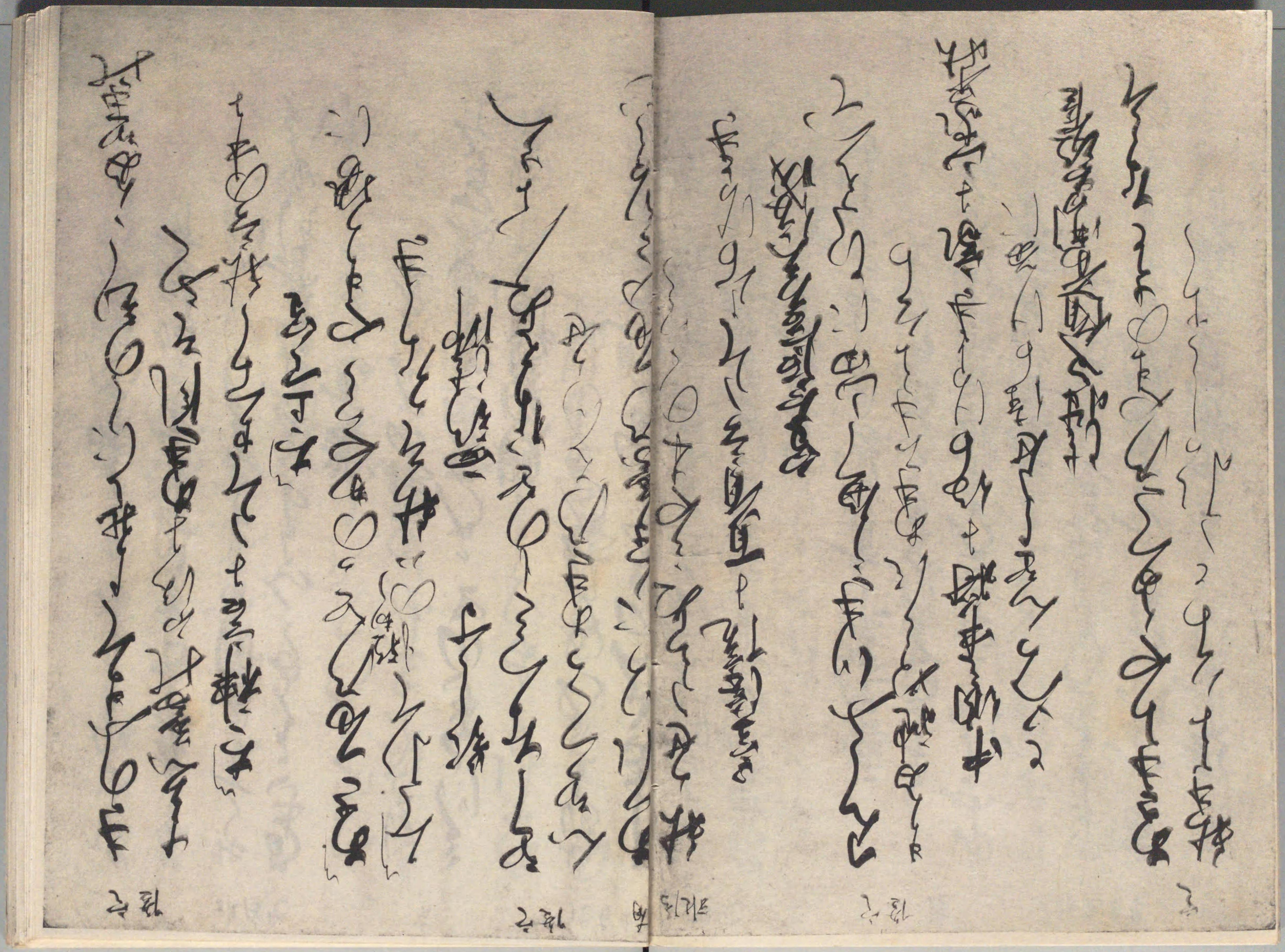
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



中務卿具平親王

[illegible]

後藤右近蔵人

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

藤原定隆朝臣

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

藤原経衡

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

相模

義三位

嵐をふきしをれたる人もとしらぬものの

宮内卿

あきはぎのしたもみぢつゆしもに

あきのゝのいろを

小野小町

あきしもとをはしりてわきなくは

おもてのあらしなれ

迎新月次扇風

紀貫之

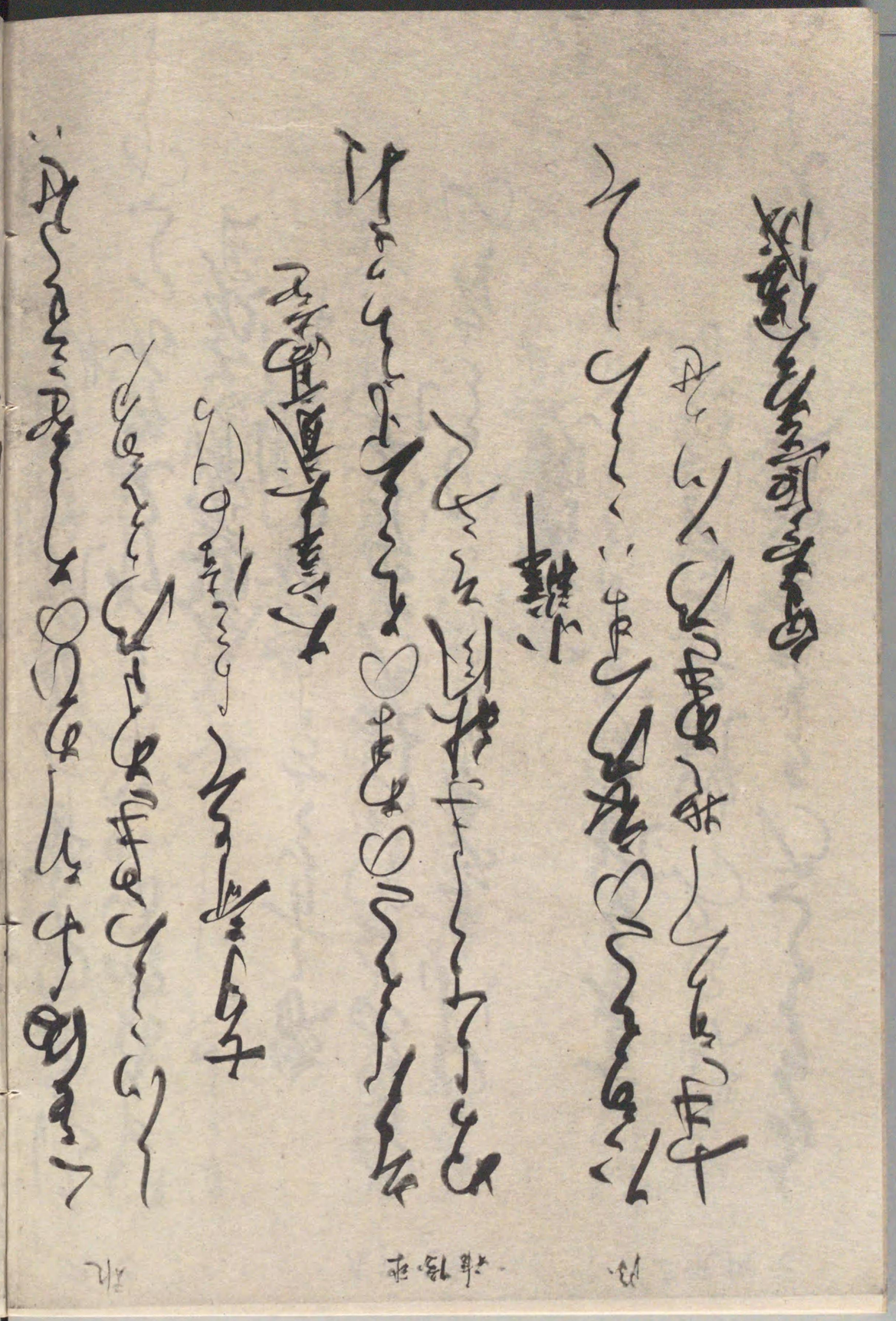
ひかぬ地をしるしるめてをりの

はをまつとへわをそのをもをん

赤人

こゝのへにかをはをるとをりの

ゝをゝをるをのをかしつく



[illegible]

[illegible]

夏[illegible]

式子内親王

[illegible]

[illegible]

家に[illegible]

[illegible]

道[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

侍従[illegible]

[illegible]

[illegible]

いとしくなりぬるをなどかくのみ
思ひそめしかとしらるる
中納言兼輔家の人々に
貫之

たちかへりあはまのうへ
川きりにそまとはなくなる

弾正宮の御方
けふ

雜

ちとせをかけてうつるとも
うきてうつるよりはなほ
秋はきの花

雜

従三位頼政

野とはなる
ちとせをかけてうつるとも
はきの花にはまさらじ

有

僧都永縁

あきはぎをおりてはすまじ
それはあれどもぬるとも

有

宗覚法親王

中宮の御方に
顕昭法師

定修

きのはなはなにまさりけり
ちとせをかけてうつるとも
はぎの花にはまさらじ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

野をしたてしにかをるあき風
ちるもみぢのくれなゐ
すすきのうへ
朝早花とかをる
秋の夕
あきあるその人ちかまに
ひとりきくこゑ
きりぎりす
前大僧正義円
またもまつ
なほ
ひきのうへにて
このうへ
ひとりもの
思
法隆院御時百首
秋
大納言公
ひとつ
ひきのうへにて
秋
秋野
ひとつ
ひきのうへにて
秋野
ひとつ
ひきのうへにて
秋
有
あきのあさ
ものゝ
ふる
風
ふかれて
高
ふかれて
ふかれて
ふかれて

なきのうちのをとをれかき
夏着ものをとりてまつ
はるかぜ
はるけきのあなたの秋をと
はるけるこのをとをうつ
ものをとりてやもしく
なれいるまつの秋のりの
をしへに

家に夏着合し侍りける
をりをりにあやしくも
うらめしくなりし秋の
のりをしるべ
詩を
寄秋のとしてふ
ふしぶし
前大僧正慈円
あきの為のむ
ふるさとの中の
野に
東逢法師
もしをるのこ
ろもとをけを

まきもくの穴あきのりたる
西行法師

こゝろあてにをしるしられぬ
しきしまの秋の中なる

西行法師すゝめて百首せられけるに

藤原宣家朝臣

こゝろをもはこしれりけり
しらつゆの秋の中なる

五十首うたのうちに

藤原雅経

たかをもとしらぬ
もゝとりのあきの夕べ

秋のこゝろを

宮内卿

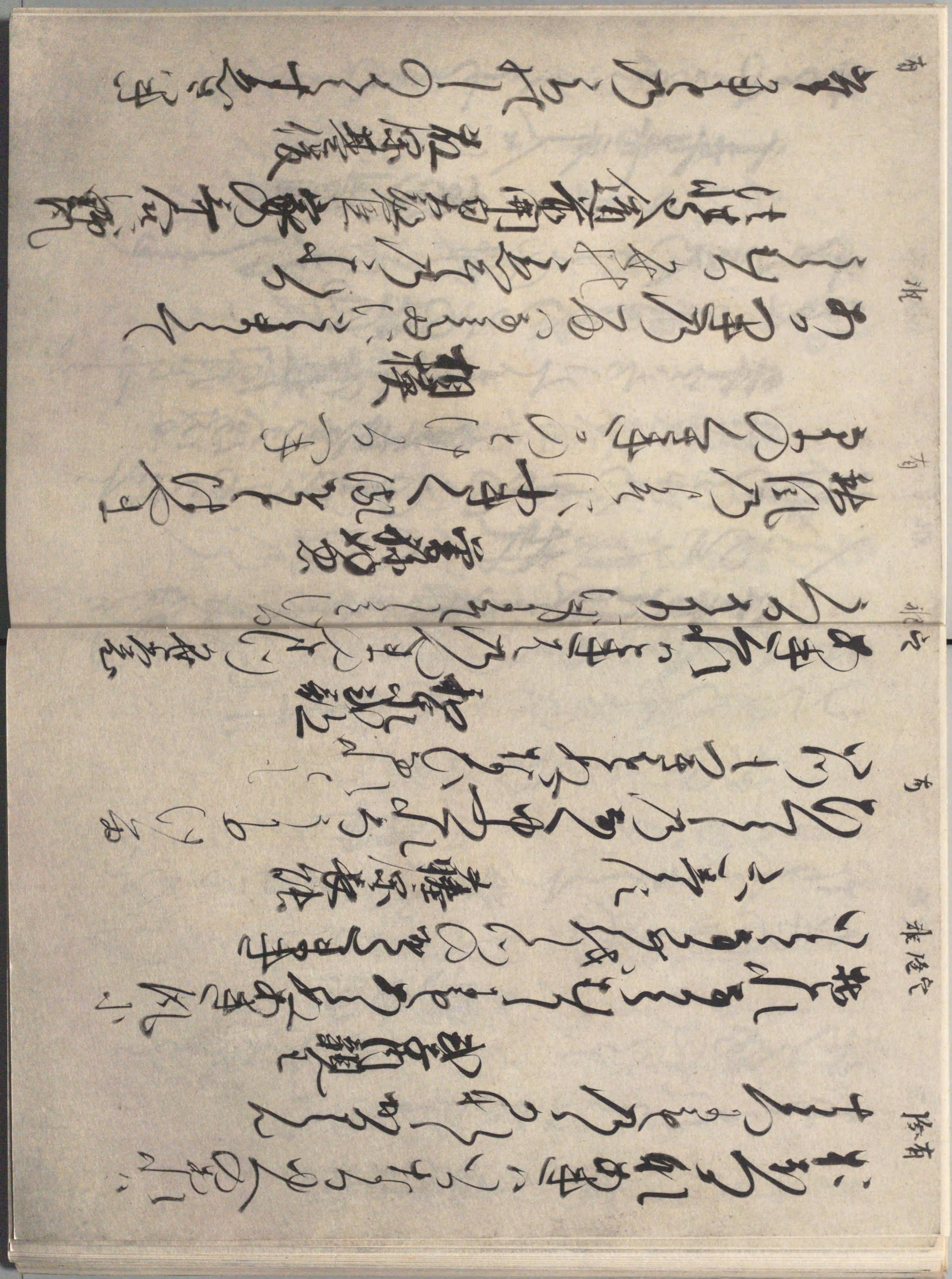
たかをもとしらぬ
わきのゆふべ

こゝろ

鴨長明

秋の夕のいとはいとゝ
あはれなるこゝろ

西行法師



千載書所合に

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

藤原家隆卿

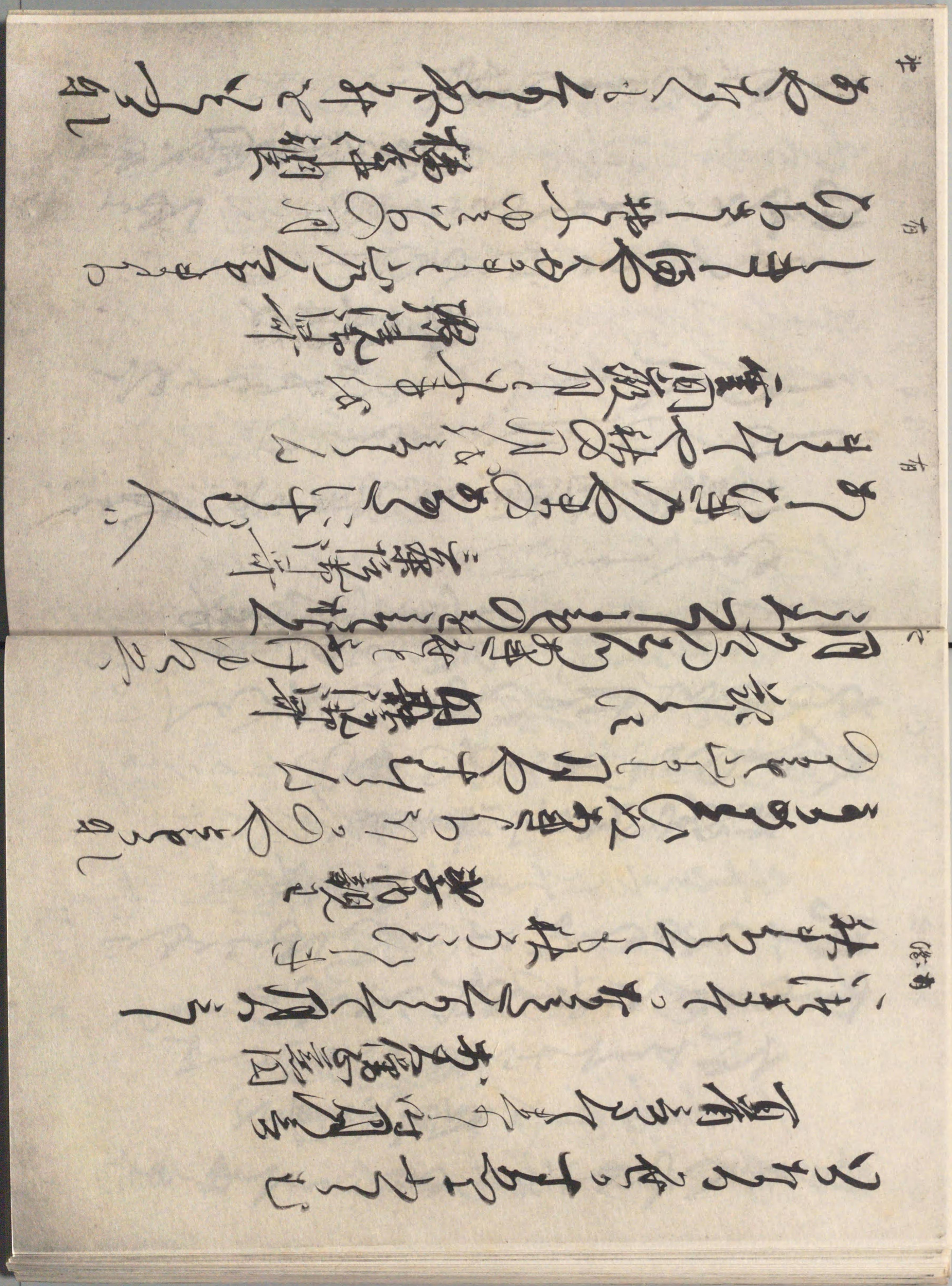
[illegible]

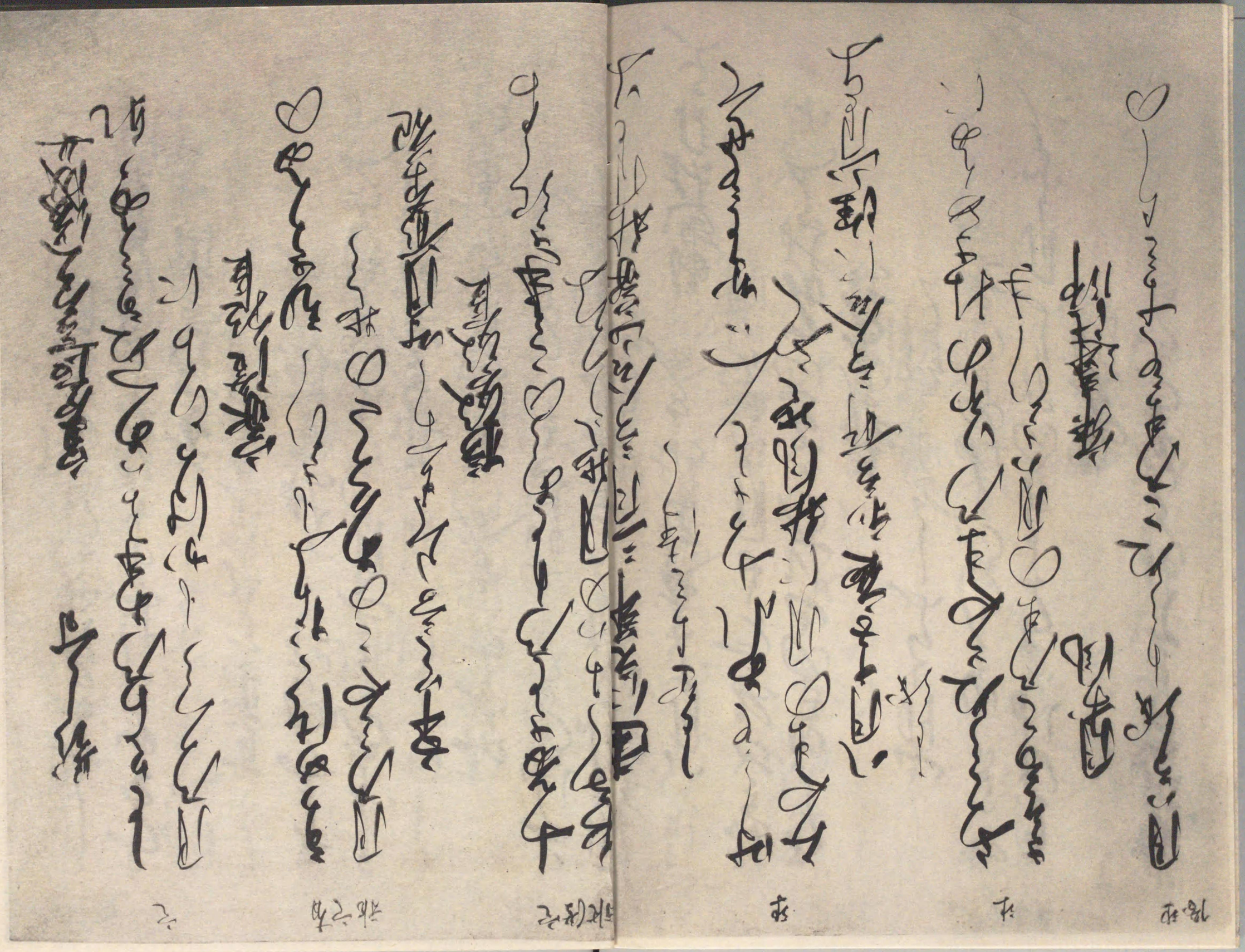
[illegible]

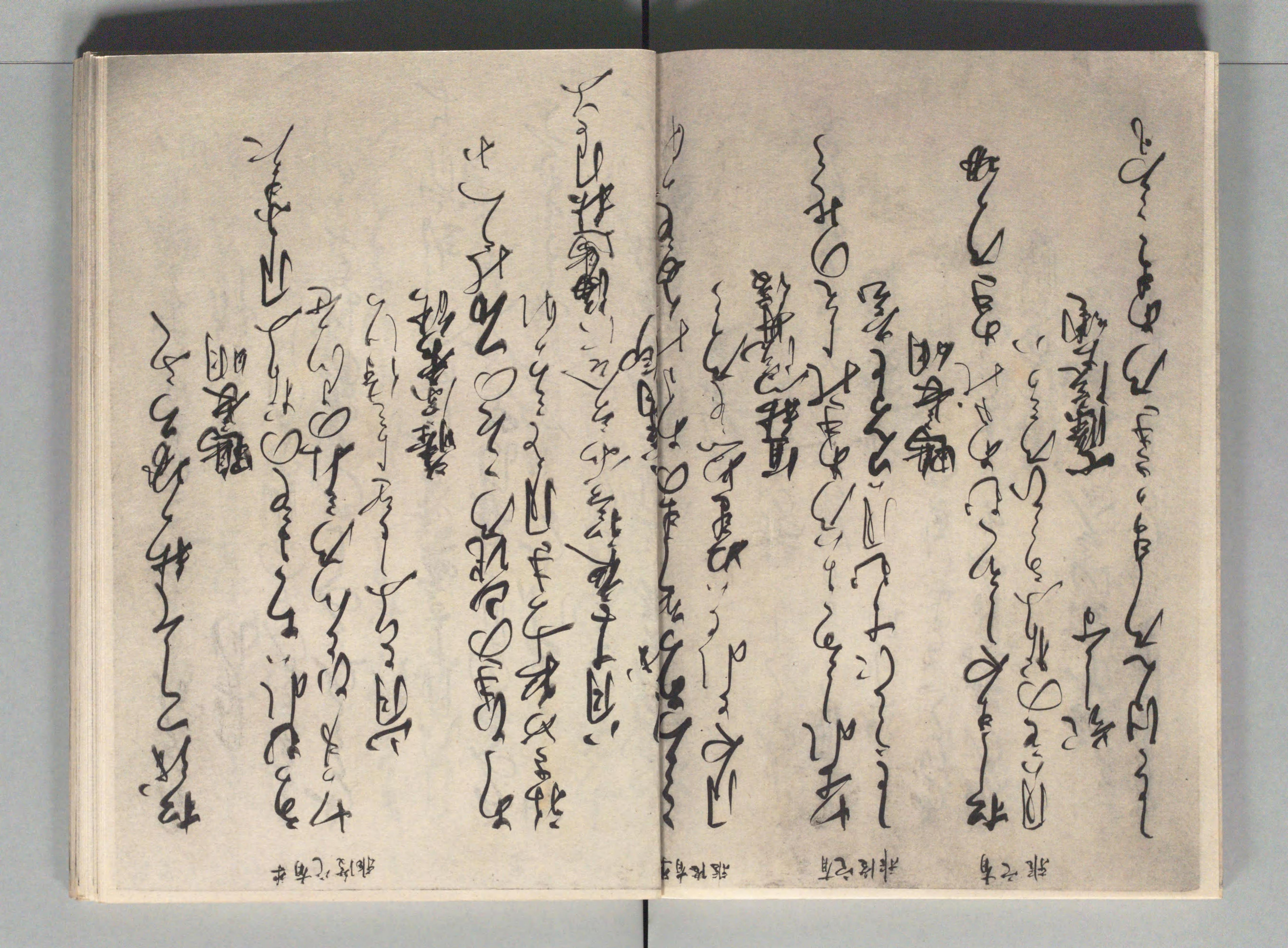
[illegible]

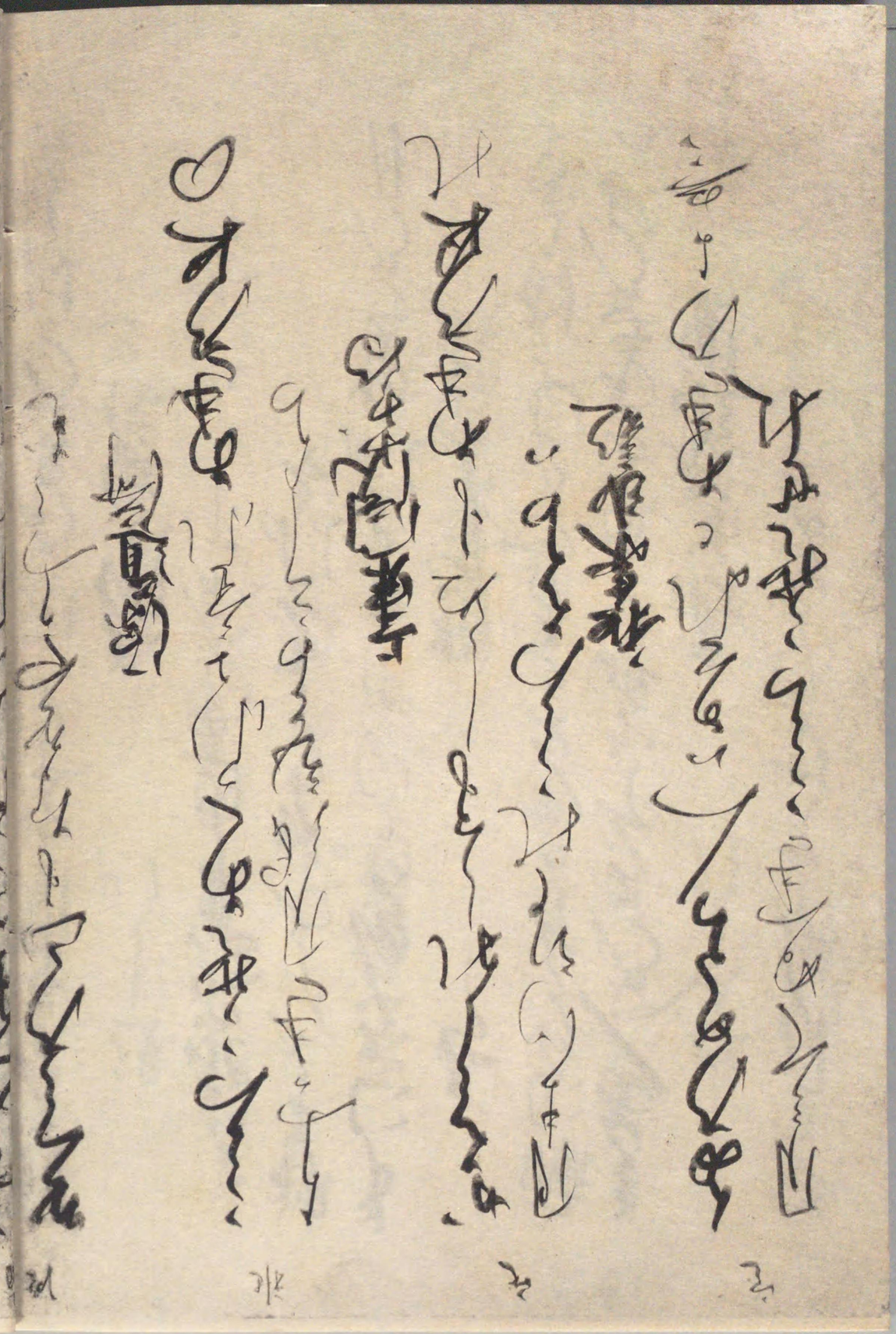
[illegible]

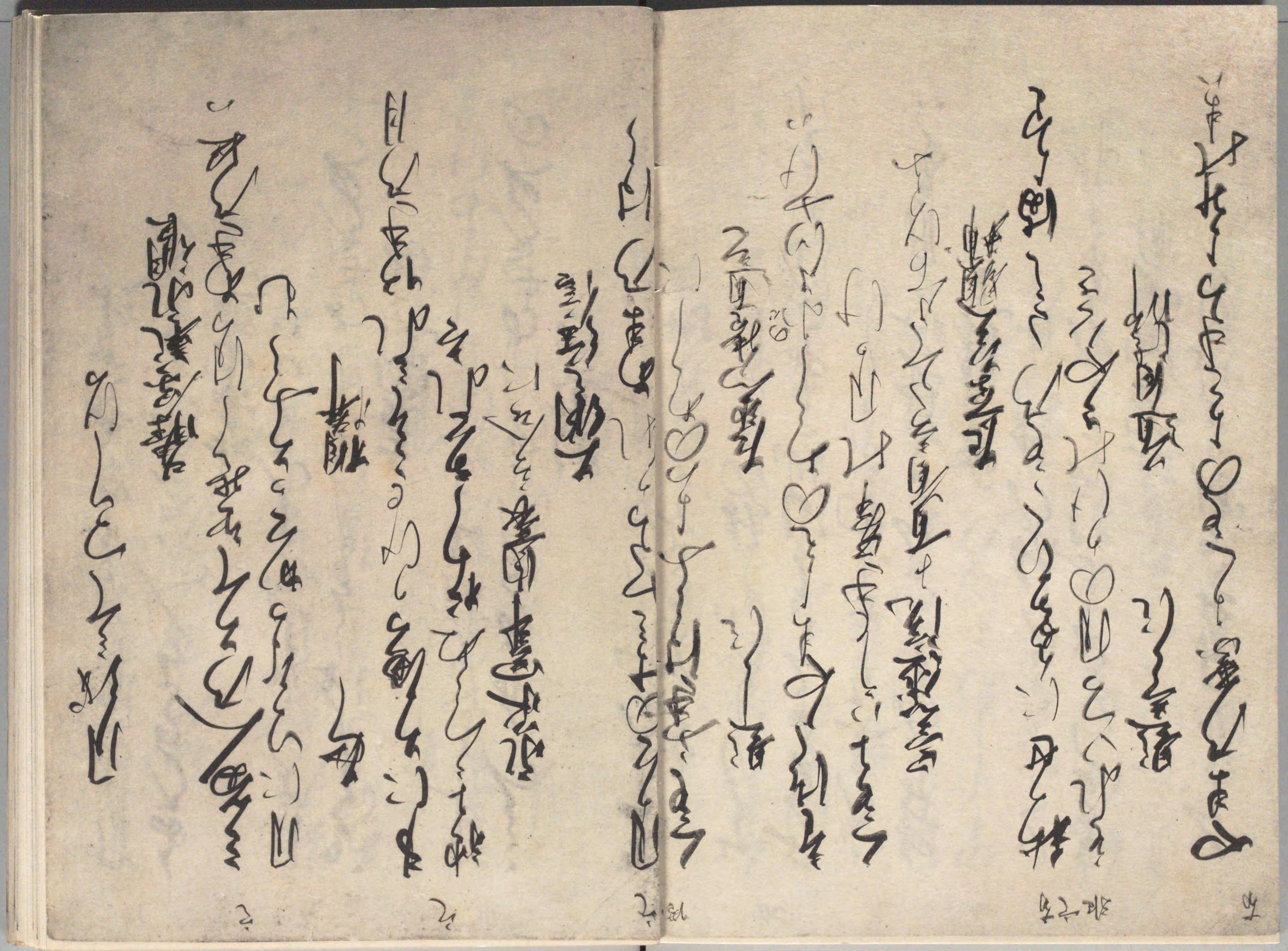
[illegible]











[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

千五百番歌合に　藤原雅経

[illegible]

[illegible]

[illegible]

藤原雅経

[illegible]

[illegible]

新古今和歌集巻第五

秋歌下

和哥所にて月のこと式部卿為仲にゆづりしとき

藤原家隆朝臣

しらなみのうつりかはるやまの井にいくよをかけてすめる月かは

百首歌たてまつりしとき

入道摂政

ひかりあらばこゆるあきこそ

定家卿

野の露にあらしのかぜのふきしきてあれたる庭の月のかげかな

家隆卿

まがきにはうつるあきかぜ

野しも

俊恵法師

うつりゆくもとのしづくにうつるかは

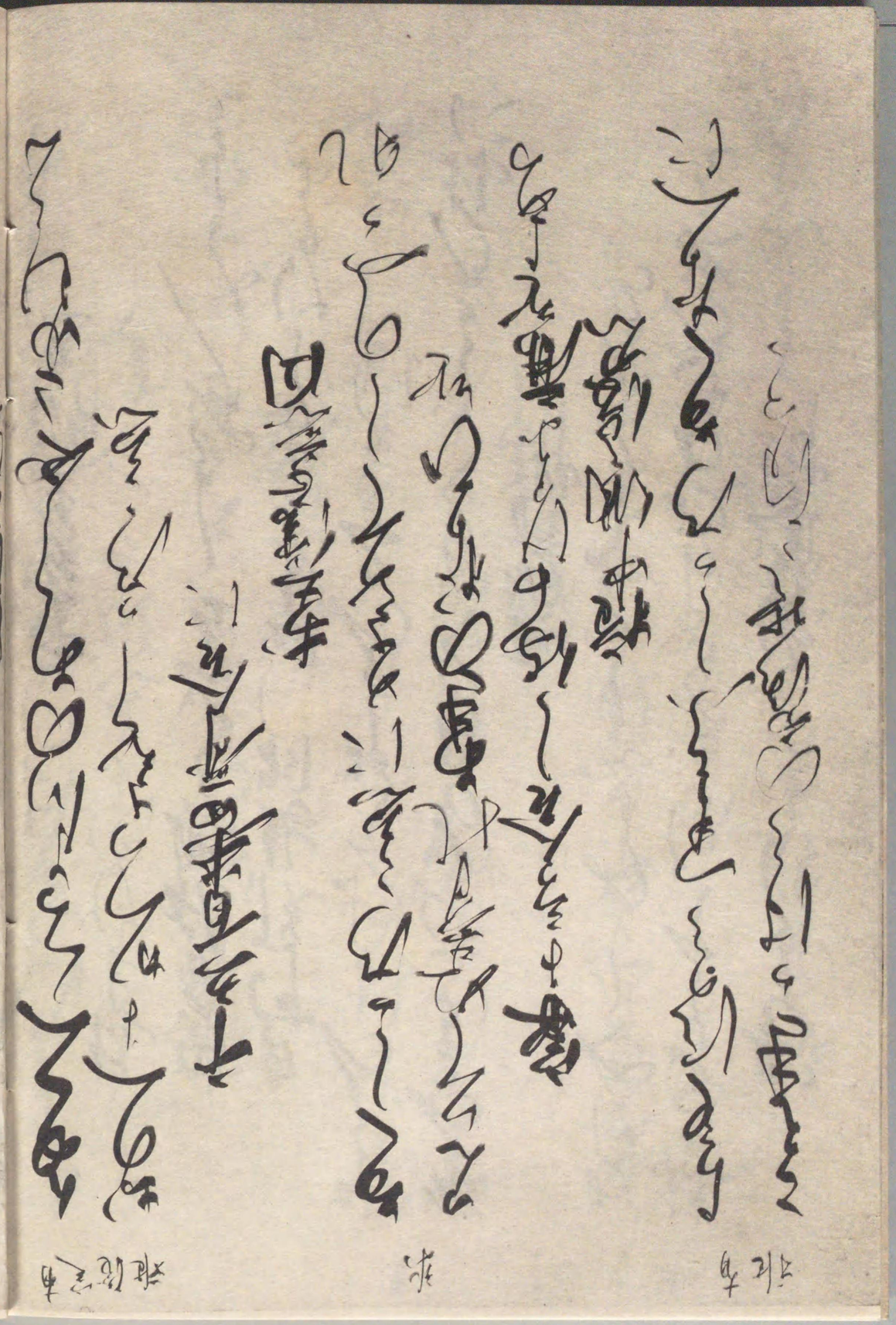
うつみそのみやつかはらの

有教

法橋慶運

ながめてもあかしつるかな

あはれいかばかりとかはしらぬ



源道師

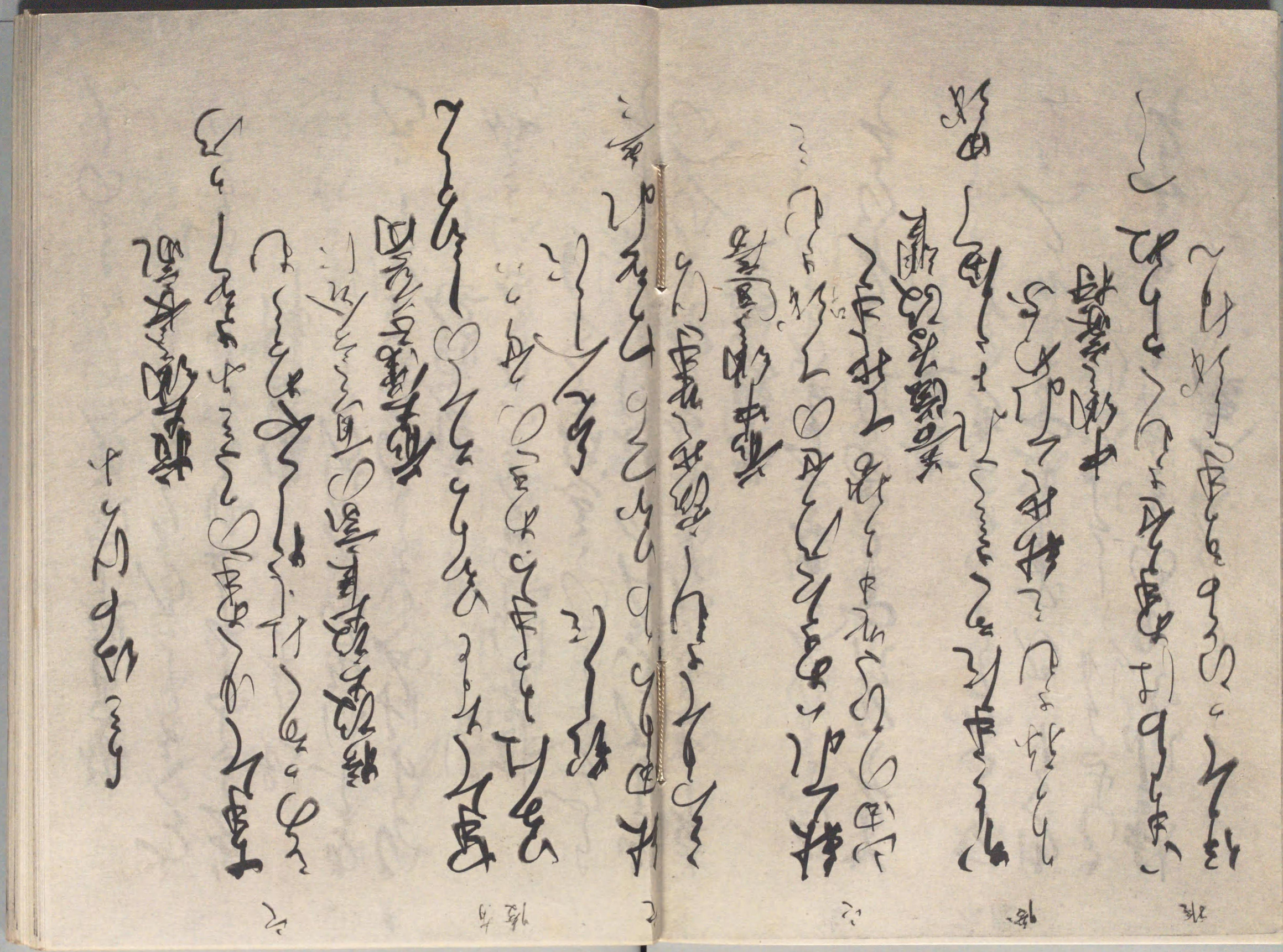
藤原顕師

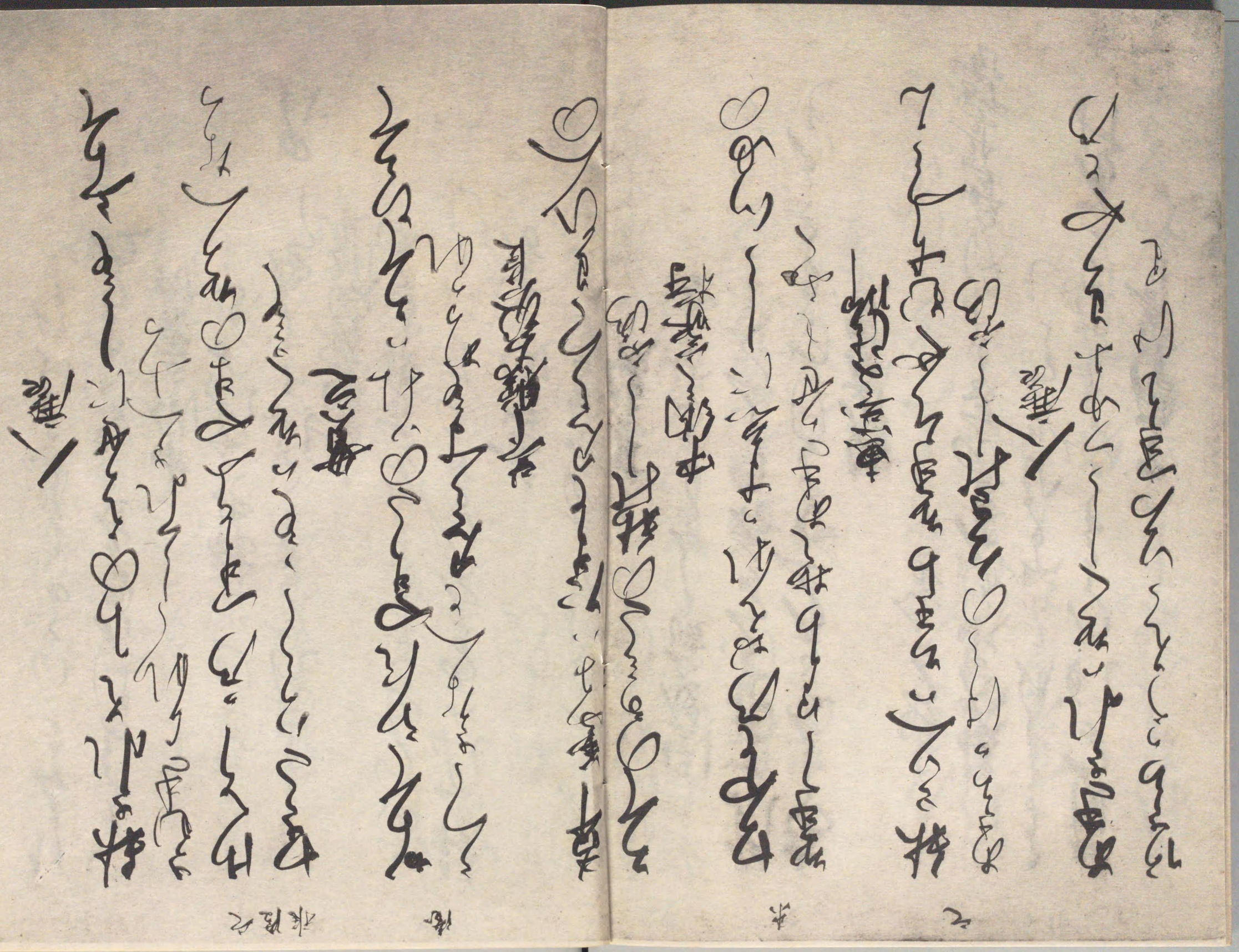
中宮亮師忠

藤原顕信

俊基師

藤原頼親と富士の会のうたの





[illegible]

[illegible]

[illegible]